

HPAI発生農場の 疫学調査概要について

2023年4月20日
農林水産省 消費・安全局
動物衛生課

MAFF

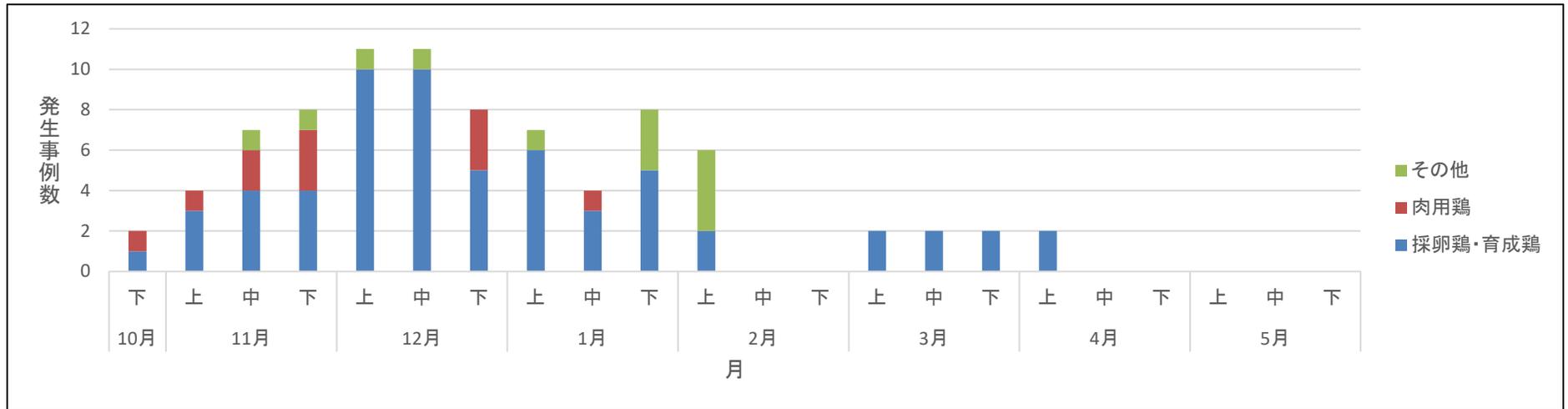
Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

本日の内容

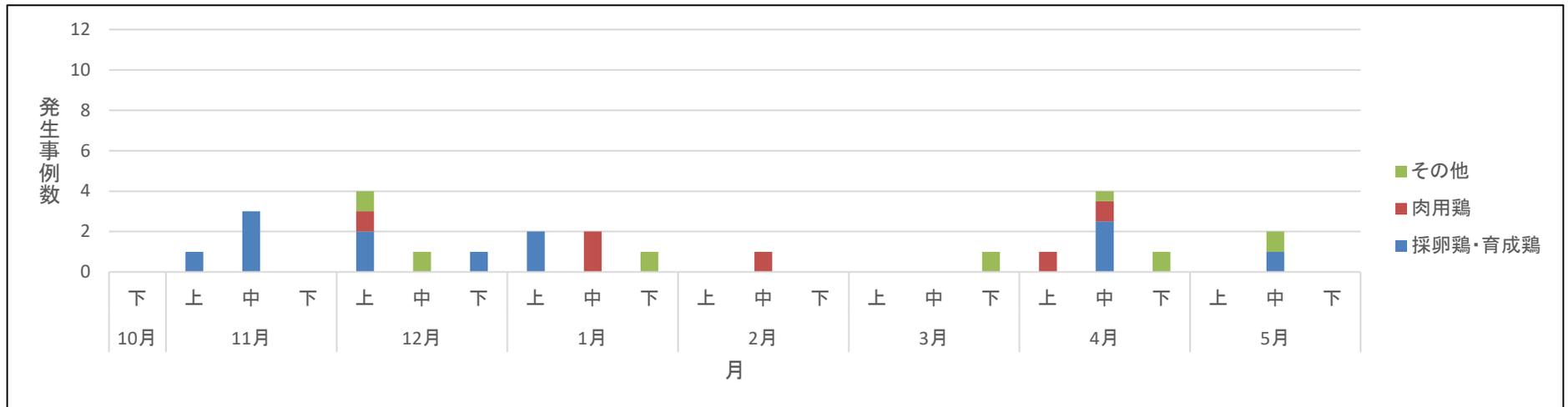
1. 発生状況、農場周辺状況
2. 疫学調査時に撮影した写真
3. 家きん小委・疫学調査検討会の概要・提言

時期別の発生事例数

令和5年4月7日時点



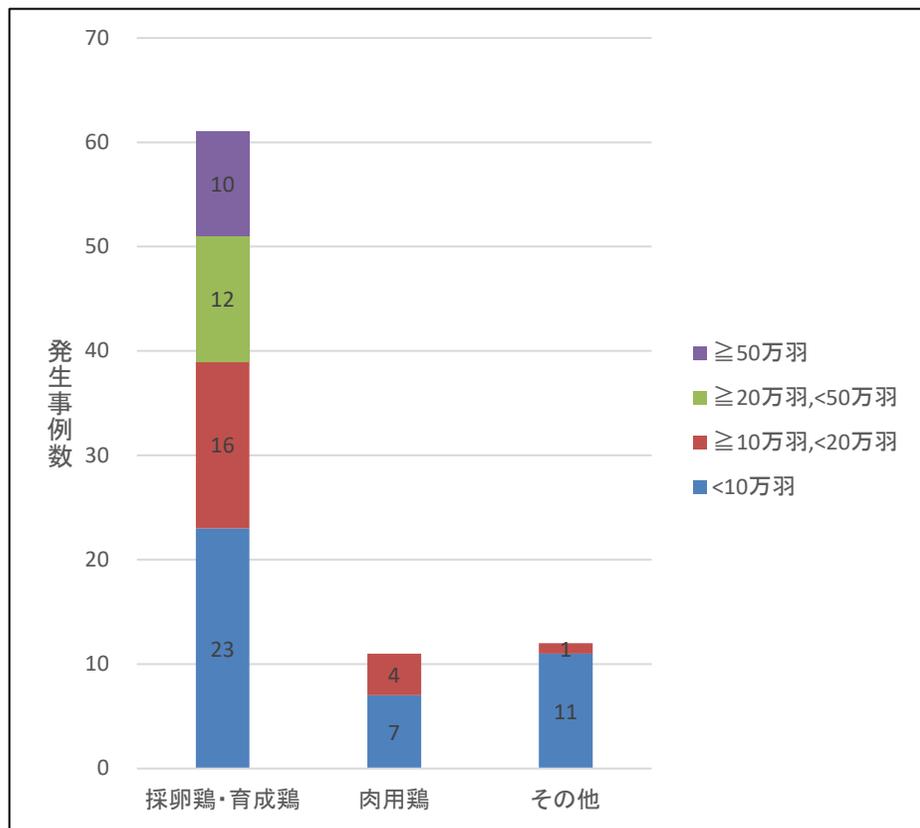
【参考】昨シーズン



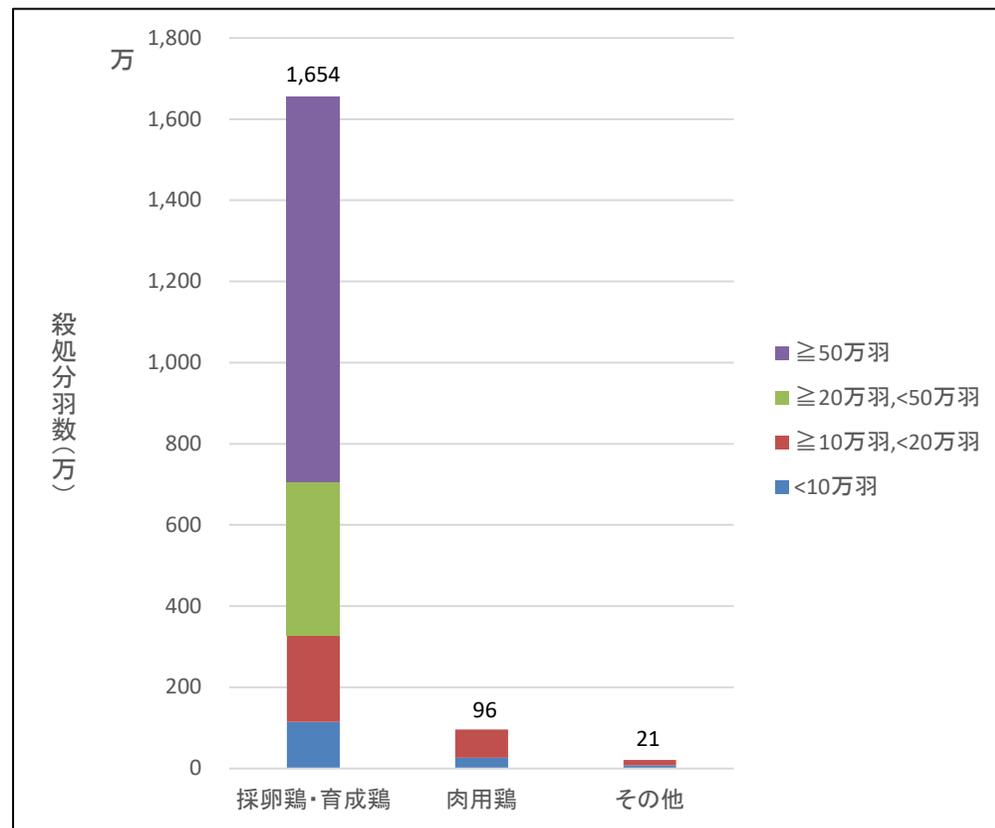
用途別及び規模別の発生事例数及び殺処分羽数

令和5年4月7日時点

発生事例数



殺処分羽数



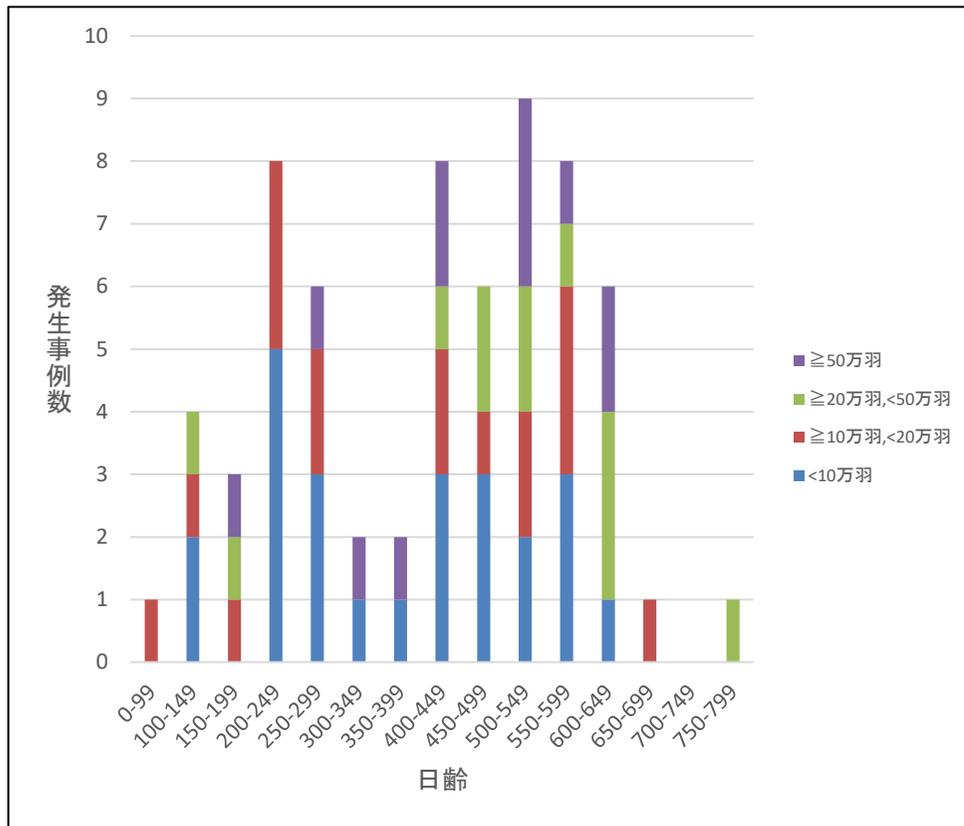
注：疫学関連農場の殺処分羽数を含む。

【注意】本資料は発生事例の情報を図表化したものであり、発生傾向を分析したものではありません。

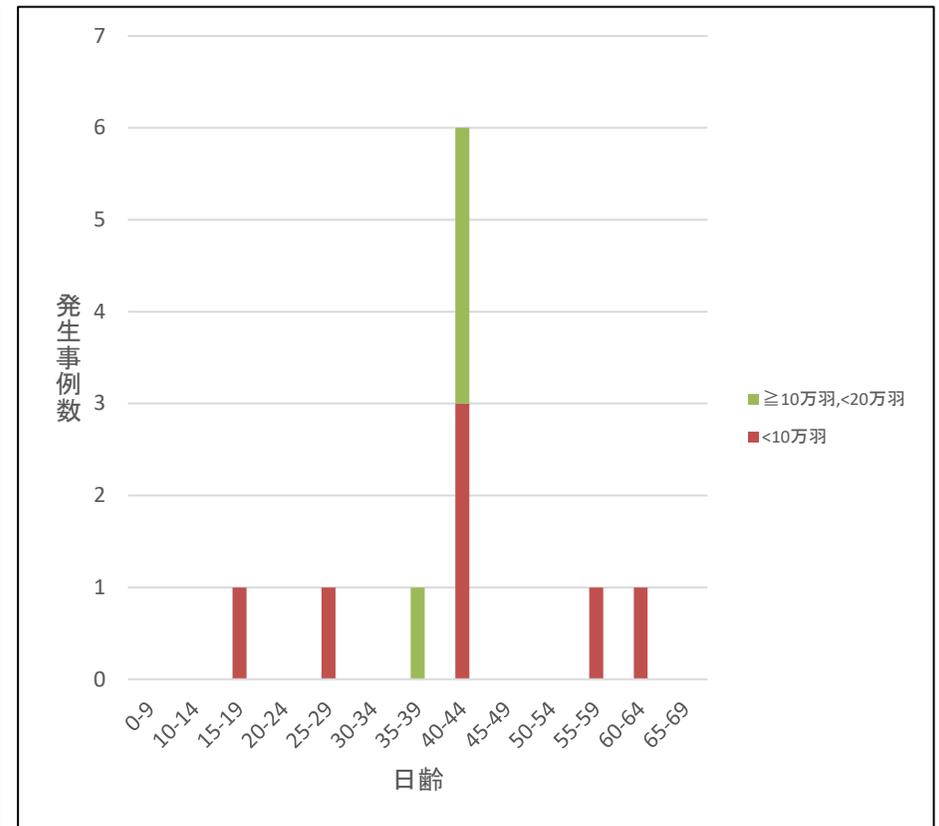
発生鶏群の日齢別の発生事例数

令和5年4月7日時点

採卵鶏・育成鶏



肉用鶏



注：おおよその日齢を含む。

26例目は発生鶏舎の異常鶏群内に7つの日齢群があり、カウントせず。

5、40、50及び76例目は異常鶏の日齢が2つあるためそれぞれカウント。

61例目は500日齢以上との報告のため「500-549」でカウント。

【注意】本資料は発生事例の情報を図表化したものであり、発生の傾向を分析したものではありません。

農場周辺状況、野鳥・野生動物生息状況

事例	用途	所在地	周囲状況	農場周辺の水場	主な野鳥・野生動物生息状況
1	採卵鶏	山間の谷 沿い	シイ類・落葉広 葉樹林、竹林	ため池、農場を縦断する沢	ため池(約 350m)にカモ類約300羽、農場周辺にイノシシ・タヌキ・ネコ・カラス
2	肉用鶏	平野部	林、耕作地	ため池、敷地内沈殿池(野鳥対策有)	ため池(約 900m)にコガモ35羽・マガモ19羽、池(約1.5km)にオオハクチョウ79羽・カモ類、農場内にカラス・シカ・リス・中型哺乳動物の糞・足跡
3	採卵鶏	山辺縁部の 平野	田畑	隣接ため池、複数のため池	隣接ため池にカモ類・オオバン11羽等、周辺ため池にホシハジロ多数、農場内にタヌキ、鶏舎内にスズメ
4	採卵鶏	台地	林、耕作地	ため池、敷地内ため池	敷地内ため池にコガモ120羽、ため池(3.3km)にヒドリガモ169羽・マガモ117羽等、農場内にカラス・ネコ・セキレイ
5	採卵鶏	山間の谷 沿い	森林	複数の池	農場周辺にイノシシ等野生動物・カラス・スズメ、堆肥舎にネコ
6	肉用鶏	山麓の海 岸沿い高 台	林、牧草地	敷地内(衛生管理区域外)浸透池、海	敷地内浸透池にコガモ6羽、農場内にカラス・スズメ・キツネ・カラス
7	採卵鶏	山間の谷 沿い	森林、竹林	複数の池	農場内にイノシシ・カラス・ヒヨドリ
8	あひる等	海岸部の 台地	山林	複数の池	施設内にカモ類・サギ飛来、ため池(1.2 km)にカモ類約140羽、施設内にカラス・スズメ・ヒヨドリ等野鳥、施設周辺にネコ・イタチ
9	採卵鶏	平地	田畑	川、複数の池	池(2 km)にカモ類約700羽、農場周辺にカラス・シカ・キツネ、鶏舎内にネコ
10	採卵鶏	海岸近くの 平野部	田畑、竹林	隣接ため池、農業用水路	隣接ため池(10m)にカモ類113羽・オオバン36羽等・サギ類1羽死体、ため池(約 500m)にカモ類147羽、川(約700m)にナベヅル14羽等・ツル類1羽死体、農場上空にツル
11	肉用鶏	山間部の なだらかな 地形	広葉樹、針葉 樹、ススキ草 地	複数の池、隣接の調整池(野鳥対策有)	池(約50m)にオシドリ10羽、農場周辺にサル・イノシシ・タヌキ、農場敷地内に中型哺乳類糞

農場周辺状況、野鳥・野生動物生息状況

事例	用途	所在地	周囲状況	農場周辺の水場	主な野鳥・野生動物生息状況
12	採卵鶏	川沿いの平野部	水田、麦の農地	川(350m)	川4地点(～1km)にカモ類計約1,600羽、ため池2か所(約2km)にカモ類計約220羽、隣接水田にカモ類羽毛、農場周辺にタヌキ、農場内にタヌキ/キツネの足跡・糞
13	肉用鶏	海岸内陸の砂丘帯	森林	養豚場敷地内の池、敷地内の沈殿池(水ほぼなし)	養豚場敷地内池にハシビロガモ2羽、池(約1.1km)にカモ類9羽、農場内にイタチ
14	肉用鶏	平野部の川州	田畑	川、複数のため池	ため池(約50m)にカモ類約50羽、鶏舎内にスズメ・ヒヨドリ、農場内にネコ・カラス
15	採卵鶏	平野部	田畑	川	近くの川にカモ、農場内にネコ・カラス、鶏舎内にスズメ
16	肉用鶏	山地と平地の境界部	森林、水田	複数のため池	ため池(約140m)にカモ類1羽、ため池(約1km)にオオハクチョウ9羽・カモ類49羽、農場内にキツネ・タヌキ・スズメ・獣道、農場上空にカラス
18	あひる(アイガモ)	平野部	水田	水路	河川(800m)にカモ類、施設周辺にスズメ・キジバト
20	肉用鶏	山間の平地	田畑、休耕田	川	周辺の川(約100m)にカルガモ2羽(尾根向こうの公園の池(約940m)にカモ類54羽、ため池(約1.2km)にカルガモ・コガモ計18羽)
21	採卵鶏	山沿いの斜面	森林、住宅地、教育施設	複数のため池、河川	複数ため池・河川(約2km以内)にカモ類約400羽、河川にカモメ類計300羽
22	採卵鶏	平地	水田、草地	隣接池	隣接池にカモ類計8,163羽、調整池(約900m)にカモ類計77羽、農場周辺五カラス・トビ、農場内にカラス、鶏舎内にネコ、
26	採卵鶏	針葉樹植林の山中	ソーラーパネル、茶畑	複数のため池、ダム湖	ため池(約700m)にヒドリガモ18羽、ダム湖(約1.9km)にオオバン12羽、農場周辺ため池にカモ類、農場内にイタチ・アナグマ・タヌキ・ネコ・カラス
31	あひる(アイガモ)	郊外の緩やかな丘陵地	畑	複数の池(1km付近)	隣接畑に野生動物の足跡、周辺池(1km付近)にカモ類・オオバン・カワウ等、農場周辺にカラス・スズメ、過去にネコ・タヌキ

2022年シーズン高病原性鳥インフルエンザウイルスの遺伝的特徴

- 令和4年10月28日から翌年1月17日までに国内の家きんで発生した高病原性鳥インフルエンザ60例のウイルスの遺伝子解析を実施。
- HA分節の遺伝子解析から分類される**3つのグループ**が**同時期・広範囲に国内に侵入**していた。また、そのうち2グループは昨シーズンに国内で検出されたグループと近縁で、新たに検出された1グループは2021年に西シベリア及び中国で分離されたウイルスと近縁であった。

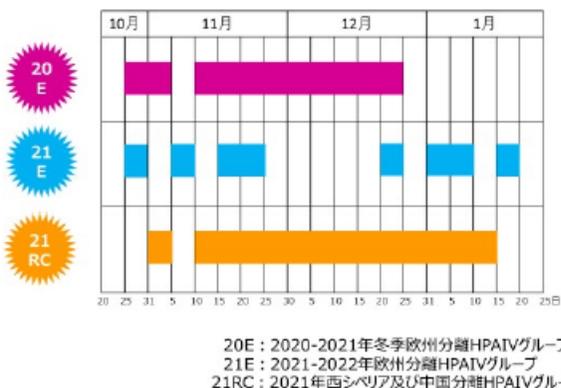


図1. HA分節の遺伝子系統樹解析に基づくH5N1亜型及びH5N2亜型高病原性鳥インフルエンザウイルスの分類と家きんでの発生時期（2022年10月28日～2023年1月17日）

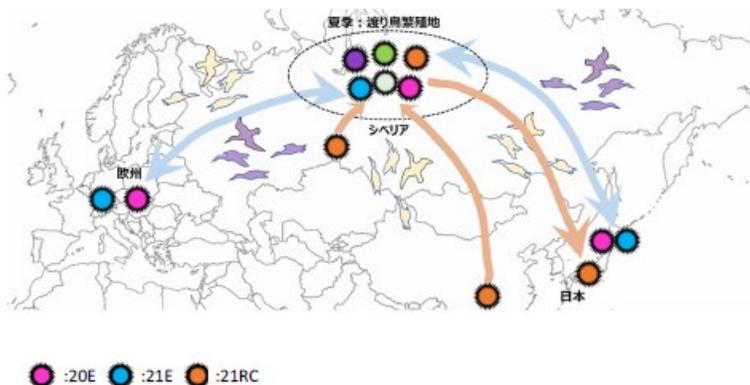


図2. HA分節の遺伝子解析に基づく2022年シーズンH5亜型HPAIV移動経路の推定

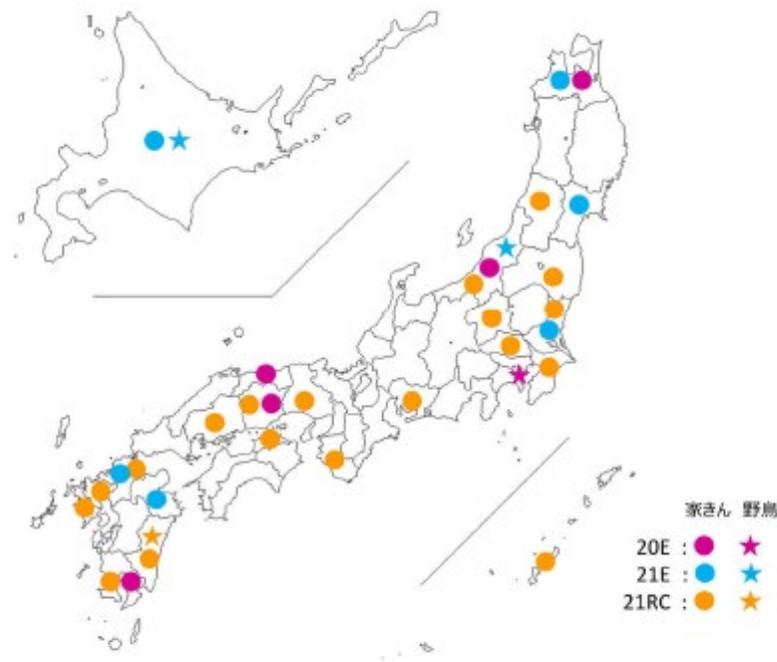


図3. 国内の家きん及び一部の野鳥から検出されたウイルスのHA遺伝子解析分類による道県別分布図

2. 疫学調査時に撮影した写真

1. 野生動物の侵入防止のためのネット等の設置(基準24)
2. ねずみ及び害虫の駆除 (基準26)
3. 衛生管理区域内の整理整頓及び消毒(基準27)
4. 疫学調査時に農場で確認された症状



集卵コンベア開口部



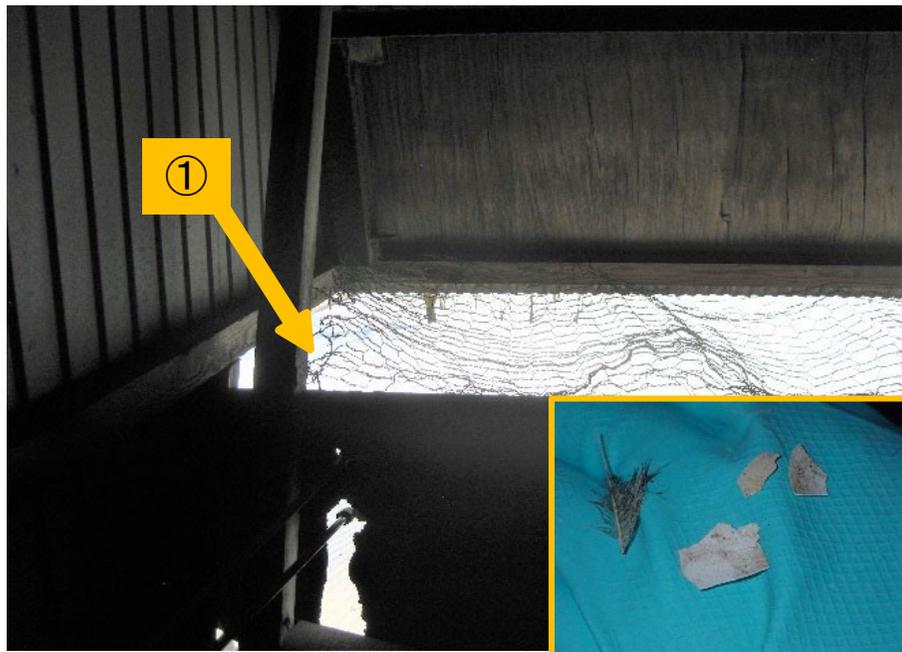
排気ファンの金網脱落・シャッター破損



鶏舎開口部の金網の破損・湾曲



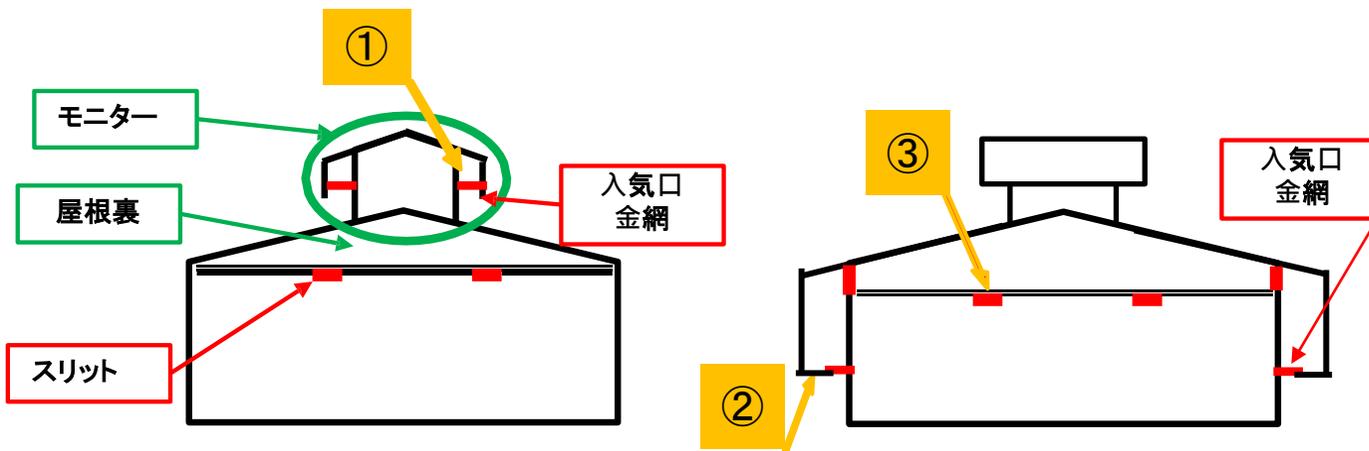
鶏舎外側出荷用出入口扉の隙間



モニターの金網破損とカラスが運んだと思われる羽及び卵殻



鶏舎側面の入気口木板の破損と天井裏の中型哺乳動物のものと思われる糞



鶏舎構造の一例

(注: モニターや入気口の形状や位置、屋根裏の有無等は鶏舎によって様々)



堆肥舎内の死亡カラス(HPAI陽性)



鶏舎(クーリングパッド)のかじり跡



飼槽内のネズミ



鶏舎基部の隙間



鶏舎内のネズミ、子ネズミ、糞